

19-7.

昭和十九年七月經過概要

日	記 事
一日	敵ハ「ヌンホル」島ニ上陸（陸軍報）
二日	<p>○「G」ハSSBニ對シ新方針指令</p> <p>○「マリアナ」邀撃戰ハ現配備潜水艦及中型潜水艦ヲ以テ實施</p> <p>○爾他ノモノハ直ニ被害防止對策施行</p>
三日	<p>敵 Kd.B ノ一部硫黄島ニ來襲、所在 f.c 八十數機ヲ以テ邀撃</p> <p>戰果 擊墜一七以上、未歸還二七</p>
四日	<p>東號作戰發動</p> <p>硫黄島及小笠原諸島ニ對シ敵 Kd.B ノ來襲アリ</p> <p>硫黄島ヘノ増強兵力（陸軍）ハ特設輸送艦三隻ヲ以テ父島、硫黄島間ノ往復輸送ヲ實施中ノ處現在迄ニ其ノ大半ヲ構成ス</p>

B29
x20
紀子 8月17日

五日	<p>「サイバン」所在部隊ヨリ玉碎實施ノ最後電アリタル後通信 杜絶</p>
<p>六日 ○當時「サイバン」所在海軍司令部 中部太平洋方面艦隊司令部、第六陸隊司令部、第三水雷戰隊 司令部、第一聯合通信隊司令部、第五根據地隊司令部</p>	<p>七日 ○9P司令部ニ關スル情報 ○三月十五日^{NTF}ヨリ^{NSB}ニ編入 ○四月九日「ウエワク」ヨリ「ホランジャ」ニ轉進 ○四月二十二日「ホランジャ」ニ敵上陸 當時所在兵力 陸軍二ヶ大隊 海軍三〇〇名 其ノ他約一三〇〇名 ○五月一日頃長官以下ハ「ホランジャ」基地附近ニテ敵ト交戦爾後不明東號 作戰部隊ノ編入ヲ以テク</p> <p>八日</p> <p>九日 YB 沖ノ島發「リンガ」ニ向フ</p>

B29
x 20
北九州

B29
x 60
北九州

B29
x 20
北九州

19-7.

二十一日	海陸軍航空部隊統一指揮ニ依リ横須賀、吳、佐世保方面防空主任務航空部隊ハ防衛總司令官ノ作戰指揮ニ入ル
二十日	
十九日	
十八日	大官島ニ對シ連日熾烈ナル空砲撃ヲ實施シツツアリ 本日ハ一部舟艇近接シ「リーフ」爆破作業ヲ實施ス
十七日	
十六日	
十五日	
十四日	
十三日	
十二日	口 ^{NS} ハ將旗ヲ「マニラ」ニ移場ス
十一日	
十日	敵ハ「サイパン」ノ完全占領ヲ發表セリ

0254

敵ハ大官島ニ對シ上陸開始
 所在部隊ハ同夜反撃ヲ加ヘタルモ大ナル戦果ヲ得ズ 戦況樂觀ヲ許サズ

二十一日	
二十三日	
二十四日	「テナアシ」ニ對シ上陸ヲ企圖ス 上陸敵軍第一波ハ反撃セルモ午前中ニハ一部敵ニ對シ上陸ヲ許スニ至ル 同夜夜襲ヲ決行セルモ撃退スルニ至ラズ
二十五日	敵英 ^{Ka B} 及艦艇ノ一部「サバン」ニ來襲 大官島部隊ハ總攻撃ヲ敢行、一時敵線ヲ突破シ相當ノ戦果ヲ擧ゲタルモノノ如ク其ノ後各隊ノ連結意ノ如クナラズ詳細不明
二十六日	
二十七日	敵 ^{Ka B} 「バラオ」ニ來襲
二十八日	
二十九日	
三十日	
三十一日	「I A B」ヨリ最後電ニ接ス

17-8.

日	記事
一日	「テニアン」島連絡ヲ絶ツ 「ニューギニア」「ミオス」島ニ敵上陸ス
二日	
三日	我軍「ミイトキイナ」撤退
四日	敵 ^{Kd.B} 硫黄島、小笠原方面來襲
五日	同 右
六日	
七日	
八日	衡陽攻略
九日	口 GF ハ海護部隊、鎮警部隊ヲ作戰（捷號作戰、海上交通保護）ニ關シ指揮ス
十日	大宮島遂ニ連絡ヲ絶ツ

昭和十九年八月經過概要

0256

19-8

二十三日	
二十四日	英 Ka.B 「スマトラ」「バタン」ニ來襲
二十五日	「ハルマヘラ」「セラム」方面ニ對スル航空攻撃熾烈化ス
二十六日	
二十七日	
二十八日	
二十九日	
三十日	
三十一日	敵 Ka.B 小笠原、硫黄島方面來襲

19-9

昭和十九年九月經過概要

記

事

日	一	二	三	四	五	六
<p>敵 ^{Kd.B}引續キ小笠原方面來襲（同方面ニ對スル ^{Kd.B}ノ屢次ノ來襲ハ同方面ニ對スル發露 増強ヲ阻害スルコト甚大）</p>	<p>「ルソン」海峽敵潛跳梁ニ鑑ミ ^{f s r} × 24 ^{fd} × 3ノ増派等ノ對策ヲ講ズ</p>	<p>2 S 編成（山城、扶桑）九月中旬昭南方面進出</p>	<p>23aBg 解隊「マカサル」ニ移動シ同 ^{23aBg} ^{24Bg}ヲ併セ指揮ス</p>	<p>北部「セレベス」ハ ^{4K.F}指揮下ニ入ル</p>	<p>敵 ^{Kd.B}大官島ニ來襲</p>	<p>23aBg 解隊取止メ ^{24Bg}ヲ解隊ス 「バラオ」ニ對シ ^{Kd.B}來襲</p>

0259

十五日	「ベリリユー」ニ於テハ所在部隊奮戦、「モロタイ」ニ於テハ守備兵力僅少ニシテ反撃スルニ至ラズ
十四日	敵 ^{KdB} ハ引續キ執拗ニ中菲南菲方面ヲ攻撃ス 敵軍ハ「ベリリユー」島及「モロタイ」島ニ上陸作戰ヲ開始ス
十三日	敵 ^{KdB} 依然中菲及西「カロリン」來襲 「セブ」在泊艦船被害 艦艇十三隻 船舶十一隻沈没
十二日	敵 ^{KdB} 西「カロリン」及中菲方面來襲（中菲方面展開中ナリシ ^{IAF} ハ大打撃ヲ受ク） 敵潛ニ依ル喪失相次ギ多難ナリ
十一日	西「カロリン」諸島前日ニ引續キ敵 ^{KdB} 來襲 「フンボルト」灣偵察ニ依レバ輸送船群（大四〇、中七〇）在泊ヲ認ム
十日	敵 ^{KdB} 「ダバオ」方面及「バラオ」方面來襲
九日	敵 ^{KdB} 「ダバオ」ニ來襲
八日	西「カロリン」方面前日ニ同シ
七日	「バラオ」方面引續キ ^{KdB} 來襲「ベリリユー」ニ對シ一部艦砲射撃ヲ實施ス 敵ノ「バラオ」方面及「ハルマヘラ」方面來襲近キヲ思ハシムルモノアリ

十六日	<p>口^Gハ^Bニ對シ^{34Sg} (イ號×1、ロ號×5)ヲシテ速ニ「バラオ」「ハルマハ」 ラ「中間海域ニ進出敵來攻部隊ノ攻撃ヲ下令ス</p>
十七日	<p>敵「アングウル」ニ上陸</p>
十八日	<p>英^{Kd.B}小部隊「コタラジャ」ニ來襲</p>
十九日	<p>第一輸送部隊ヲ編成^Gニ編入 ○兵力 一等輸二(十月末ニハ三) 二等輸五(十月末ニハ一四) ○任務 臺灣、南西諸島方面局地輸送、捷號作戰機動反擊部隊ノ輸送 「ペリリユ」及「モロタイ」ニ對シテハ「モロタイ」ニ對シ夜間航空攻撃ヲ以 テセル外局地守備兵力ノ戦闘ニ俟ツノミニ至リ大勢如何トモ爲シ難シ 「ペリリユ」部隊ノ勇戦鬼神ヲ泣カシムルモノアリ</p>
二十日	
二十一日	<p>敵^{Kd.B}「ハルソン」ニ來襲「マニラ」連續空襲ヲ受ク</p>
二十二日	<p>「マニラ」方面引續キ^{Kd.B}ノ攻撃ヲ受ク ○「マニラ」方面在泊及同方面海域ノ船團被害大 ○^{A.F}ハ第一次、第二次ニ亘リ晝間攻撃ヲ實施</p>

二十三日	比島米英ニ宣戰布告
二十四日	敵「サマール」島東方海面ニ出現再度「セブ」「ブーラン」「レガスビー」 「コロシ」灣ニ來襲
二十五日	
二十六日	
二十七日	
二十八日	
二十九日	1KdF 3Sf ヲ直卒シ 1Sf ニ司令官ヲ置ク
三十日	「バリックババン」ニ及fC來襲（敵戰爆連合體增大セルヲ認ム） B24

(附 録)

一 敵情判断 (昭和十九年九月一日)

(イ) 一般情况

七月下旬以降ノ諸情况ヲ過去ニ於ケル敵ノ習性ト併セ考察シ又「マリアナ」攻略戦以後ニ於ケル敵ノ作戦準備期間ニモ鑑ミ九月上旬敵次期進攻作戦開始ノ情勢ニ在リ

(ロ) 最近ノ情况

敵ノ通信諜報、空襲情况並ニ敵潜水艦ノ配備等ニ鑑ミ敵ノ次期進攻態勢概成シ特ニ「ハルマヘラ」或ハ西「カロリン」方面ニ對シ近ク攻略戦展開ノ兆顯著ニシテ同時ニ「マリアナ」及支那方面ヨリスル對本土空襲、千島列島ニ對スル敵制攻撃等ヲ行フ算アリ八月下旬敵主力ハ「マール」方面(一部ハ二十八日頃「ブラウン」出撃ノ兆アリ)水上艦艇ノ一部「アドミラルティ」方面ニ在リト判断ス

ニ 敵西「カロリン」攻略ニ對スル帝國海軍ノ企圖 (昭和十九年九月八日)

(イ) GFノ執ラントスル邀撃計畫概ネ左ノ如シ

各守備部隊ノ全力ヲ擧ゲテ敵上陸軍ヲ水際ニ撃滅スルニ努メ敵ヲシテ飛
行場使用ヲ不可能ナラシムルト共ニ極力持久ヲ策ス

IAFハ之ニ策應シテ敵KaB及攻略部隊ニ對シ主トシテ機動奇襲戰ヲ以テ敵勢

ヲ漸減シ敵ノ航空基地推進企圖ヲ撃碎スルニ努ム

先遣部隊ハ時日ノ餘裕ヲ以テ敵來攻ヲ豫察シ得タル場合「バラオ」近海

ニ進出邀撃シ水上部隊又情況之ヲ許サバ突入作戰ヲ實施スルコトヲ期ス

計畫右ノ如クナルモ今次來攻ニ當リテハ先遣部隊ノ邀撃ハ勿論、水上部

隊ノ突入作戰ニ極メテ困難ナル實情ニ在ルヲ以テ現地部隊ノ善戰ト基地

航空部隊ノ短切ナル奇襲攻撃ニ頼ルノ外ナカルベシ

(ロ)比島 方面所在航空兵力(九月一日現在)

甲 戰 一三〇機(保有二一〇機)

丙 戰 一五機(〃 二二機)

艦 爆 二五機(〃 四三機)

19-9.

艦	陸	陸	陸	陸
攻	爆	攻	偵	偵
一五機 (保有)	二〇機 (〃)	四〇機 (〃)	四機 (〃)	六機 (〃)
二八機	三八機	六一機		

30a.Bg-1 「バラオ」 「ヤツブ」 防備兵力
 司令部 「ペリリユ」 「アングウル」
 45Kg 派 45Kg 派

兵力 約二、五〇〇 其ノ他不明
 高角砲 一六
 二五糶 一八三
 短二〇糶 一二二
 一五糶 八
 14D (七六) 二聯 (三六)
 一六/一五聯 一六/五三旅 一六/五九聯
 戦車 三三

16Kg 「ヤツブ」
 高角砲 一〇
 二五糶 六〇
 平射短二〇糶 同
 一二糶 同
 四九旅 (七六)